



環境白書の刊行にあたって

広島県知事 藤田 雄山

私たちは今、地球温暖化をはじめとするさまざまな環境の危機に直面しています。

この危機を克服し、県民が安心して暮らせる恵み豊かな環境を守り、未来の世代に引き継いでいくことは私たちの責務です。そのためには、温室効果ガス削減を目指す低炭素社会づくりや、循環型社会づくり、自然共生社会づくりを総合的に進めていかななくてはなりません。

こうした中、本県では、総合計画「元気挑戦プラン」において、重点政策として、地球・地域環境の保全や循環型社会の構築を掲げ、積極的に取り組むこととしています。

その取組の一つとして、県民一人ひとりにライフスタイルの見直しや、エコライフの実践を呼びかけ、二酸化炭素排出削減を目指した「広島発・ストップ地球温暖化 県民運動」を展開しています。

また、3R(リデュース:発生抑制, リユース:再使用, リサイクル:再生利用)の推進など、循環型社会の実現に向けた取組も強化しているところです。

地球温暖化問題は、決して「誰かが解決してくれる」ものではありません。県民一人ひとりが、自分のこととして受けとめ、ライフスタイルを見直し、身近なこと、すぐにできることから実践していただけるよう、さらに運動を広げて参りたいと思っております。

この白書は、本県における環境の現状や課題に対する取組などを幅広く掲載しています。

本書を通じて、県民の皆様が、自らの行動と環境との関わりについて、認識を一層深めていただくとともに、環境創造の輪が広がっていくことを期待しております。

平成21(2009)年9月



「広島発・ストップ地球温暖化 県民運動」ロゴマーク